

## 山都町の未来図 ～地域おこし協力隊～



山都町地域おこし協力隊の皆さん（令和3年4月撮影）  
左から出口さん、内田さん、今村さん、緒方さん、橋口さん

### 昨年度より引き続き活動されている隊員紹介

氏名 (前住所)	主な活動中心施設 (主な活動内容)
出口 貴啓さん (熊本市)	山の都地域しごとセンター (移住定住、矢部高校の魅力化、若者の担い手育成)
内田 栄進さん (熊本市)	山都町観光協会 (山都町の観光振興)
橋口 幸雄さん (神奈川県)	有機の里ほたる館 (販売所での企画、農産物販売強化)
今村 忠司さん (福岡県)	鮎の瀬交流館 (交流館の企画、運営、農産物の販売)
緒方 弘臣さん (福岡県)	丸山ハイランド (施設のイベント企画、運営、情報発信)

本町では、人口減少や高齢化等の進行が著しい中、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住及び定着を図り、地域力の維持または強化を図ることを目的として、「地域おこし協力隊」という制度を平成25年より採用しています。

令和2年度までに、14人採用し、現役で隊員として活動されている5名（左表）を含め、計11名が本町で定住されています。

また、令和3年度から新たに計3名の隊員を採用しましたのでご紹介します。



地域おこし協力隊  
ひらいわ たつじ  
平岩 達治さん  
(愛知県出身)  
=清和高原天文台・勤務=

詳しくない方も楽しめるような空間を演出する星空ガイドを目指しています。まずは、自分が天文台の魅力をしつかりと知ること、多くの人が楽しい時間を過ごせる場所を提供する方法を探っていきたいと思っています。

○全国で地域おこし協力隊の募集がありますが、なぜ山都町の地域おこし協力隊に？

はじめは北海道から沖縄まで全国各地の協力隊を調べていました。農業関係の仕事をしていたので、当初はその分野で活躍できる場所を探していましたが、その中で山都町の清和高原天文台が募集していることを知りました。実は子どもの頃から宇宙や星に興味があり、天文関係の仕事をするのが夢でした。農林業が盛んな山都町で前職の知識や経験を活かしつつ、憧れだった天文の仕事ができる大きなチャンスだと思い応募を決めました。

○今どんな活動をしているのか教えてください。

今はまだまだ勉強中です。天文に  
えてください。

○今後どのような活動を行ってみたいですか？

取り組みたいこととしては、町内外の人に興味を持っていただけるように、ホームページやチラシ等、どんな星が観測できるのか、イベントの情報や積極的に発信していきたいと思っています。また、宇宙に関して学び楽しむコミュニティの場の提供やクイズ大会などのイベント開催を考えています。

○町民の皆さまにメッセージ

今まで林業や農業に多く携わってきましたので、その分野でも経験を活かして活動できたらなと思っています。地域の方々との交流を大切にしながら山都町での暮らしを楽しんでいこうと思いますので、ぜひ仲良くしてください。

自然と地域の暖かさを感じています。

○今後どんな活動を行っていききたいですか？

まずは地域のこともっと知ってきたいですね。私がやりたいことがあっても、その地域に合わなければ仲良くできないので、知ること何求められているのかを考え、地域と一緒に動いていきたいです。仕事についても、まずは仕事内容を覚えることですが、鹿やイノシシの生態や食害などを猟友会の方などに話を聞きながら勉強し、情報発信することでジビエの普及に努めたいです。

○「ジビエ工房やまと」のEC(通販)サイトができましたが、今後のようにPRしていきたいですか。

商品のカタログページもいいですが、ジビエ工房がどのような取り組みや理念を持って行っているのかも発信していけば、ジビエのことを知ってもらいきっかけとなり、購入者も増えるのではないかと  
思っています。

○町民の皆様へメッセージ

山都町は母の育った町でもあるので、私の故郷と思っています。これから皆さんと一緒に地域活動を行っていきま  
すので、よろしくお願い致します。



地域おこし協力隊  
ひろせ ともはる  
廣瀬 友春さん  
(千葉県出身)  
=ジビエ工房やまと・勤務=

○地域おこし協力隊を知ったきっかけを教えてください。

熊本の言葉と人が大好きで熊本に住むのが夢でした。どうしたら熊本で暮らせるか調べていたら見つけたのが、山都町の地域おこし協力隊でした。子どもの頃から三味線など色々な音楽や踊りに触れて育ち、大学では日本文化や伝統芸能を学んでいたもので、特に清和文楽館での活動において、自分が学んできたことを活かし貢献できるのではないかと  
思志望しました。

○今どんな活動をしているのか教えてください。

文楽の講座に参加して人形の動き方や三味線、笛、太鼓などの練習をしています。また、人形の頭(か



地域おこし協力隊  
くすはら あいり  
楠原 愛理さん  
(福岡県出身)  
=清和文楽館・勤務=

でも多くの人の目に触れるように工夫して発信できたらと思っています。山都町に少しでも貢献できるように頑張りますので、よろしくお願い致します。

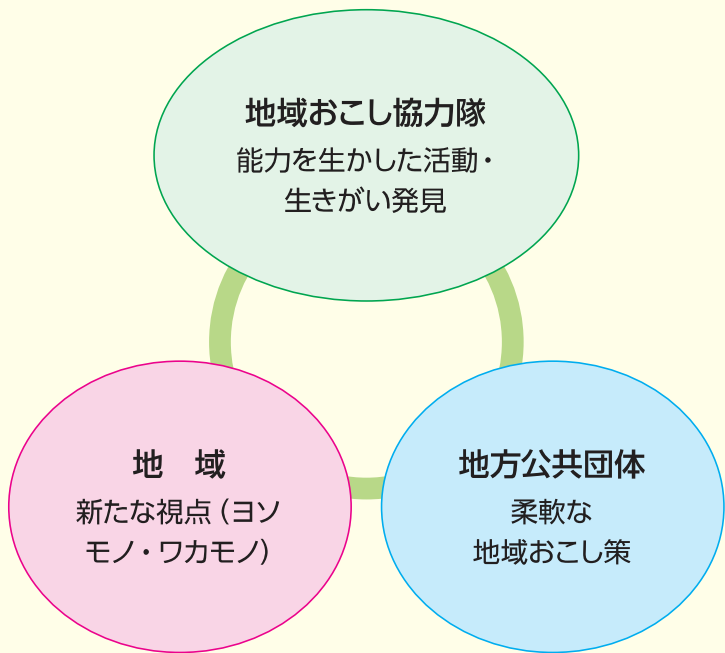
○町民の皆さまにメッセージ

しらの部分を文楽館で保存していますが、その頭の保存・管理台帳の資料を一つ一つのデータとしてまとめる作業をしています。さらに、資料には残されていませんが、人形の管理方法について知識を持っている方に聞き取りをしながらデータ化し、後世に伝えるため保存資料としてまとめています。

『地域おこし協力隊』とは？

地域おこし協力隊とは、都市部から人材を受け入れ、様々な地域協力活動を通じて移住定住を図り、地域の維持・強化を目指す制度です。令和2年度には全国で5,464人の隊員が活動する規模となり、任期終了後も約6割が活動した地域に定住しています。また、地域おこし協力隊の活動

は、「三方よし」の取り組みといわれています。協力隊員は新たな視点や思いをもたらし、地域や自治体がいづくことへのなかつた地域おこし策や地域の魅力を提案していくことで、三方が互いに影響し合い、地域活性化につながることを期待されています。



「地域おこし協力隊」の制度を活用し、農業や観光などで地域の活性化を図りたい組織や団体は、企画政策課までご相談ください。(☎ 72-1214)